

平成17年3月期 中間決算説明資料



TECHNOL EIGHT

平成16年12月22日

テクノエイト株式会社

株主・投資家の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに、当社平成16年9月中間期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当中間期のわが国経済は、国内設備投資および輸出の拡大に支えられ、回復基調を維持しました。また、主要取引先の自動車業界におきましては、国内生産台数は、7年ぶり5百万台の大台に乗せる等、総じて堅調な推移を示しました。



代表取締役社長 野村貞郎

このような環境の中で、当社の売上高は、主力のプレス部品等関連売上は自動車関係の受注を背景に順調に推移しましたが、電子応用機器等関連売上は子会社テクノ佐賀株式会社のゲーム機器事業が業界事情等により大幅に落込み、全体の売上高では19.1%減の7,565百万円となりました。

利益につきましては、生産改善活動等、グループをあげてコスト削減努力をいたしましたが、電子応用機器等関連の売上減の影響により、経常利益は383百万円(前期比59.1%減)、当期純利益は243百万円(前期比48.7%減)となりました。
配当につきましては、中間配当金は1株あたり5円とし、年間では1株あたり10円の配当を行なう予定であります。

なお、子会社テクノ佐賀株式会社はゲーム機器のOEM製造と不動産賃貸の2部門の事業を展開してまいりましたが、この内、ゲーム機器製造部門は、業界事情等による急激な売上の減少ならびにOEM供給先の自社工場立ち上げに伴い、今後、採算確保の可能な受注の目処が立たないと判断し、同社中間決算日後の本年8月末をもって同事業から撤退いたしました。

今後の見通しにつきましては、自動車業界等の動向から引き続き順調な推移が見込まれますものの、電子応用機器等では、上記のとおり、子会社のゲーム機器部門からの撤退に伴う影響が下期に反映することもあり、全体では減収減益となる見込みであります。

通期の業績見通しにつきましては、この事情により、連結売上高は14,760百万円(前期比13.6%減)、連結経常利益は430百万円(前期比62.8%減)、連結当期純利益(損失)は子会社のゲーム機器事業からの撤退に伴う特別損失の計上を含み140百万円の損失(前期比561百万円減)を予想しております。

当社グループとしましては、主力部門であるプレス部品関連に経営資源を集中し、更なる品質の向上並びに原価低減の推移により、一層の経営効率化、収益基盤の拡充に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

目次

- 1・中間決算の概況 P4
 - 2・通期の見通し P9
 - 3・会社の概要 P15
 - 4・経営戦略 P24
-

中間決算の概況

平成16年9月中間期決算実績(連結)

単位:百万円

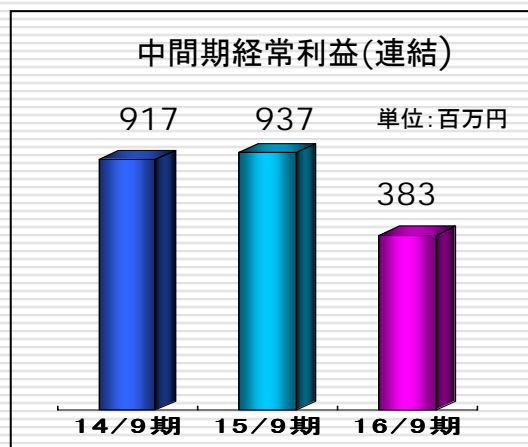
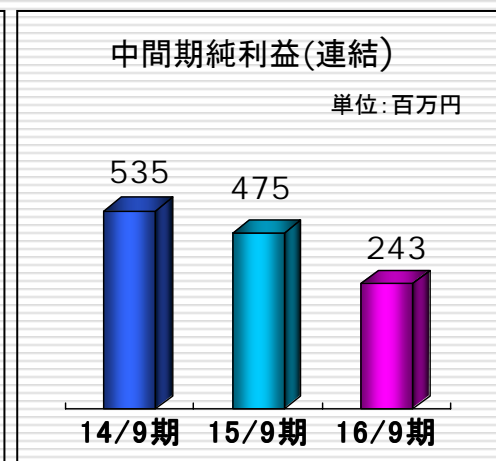
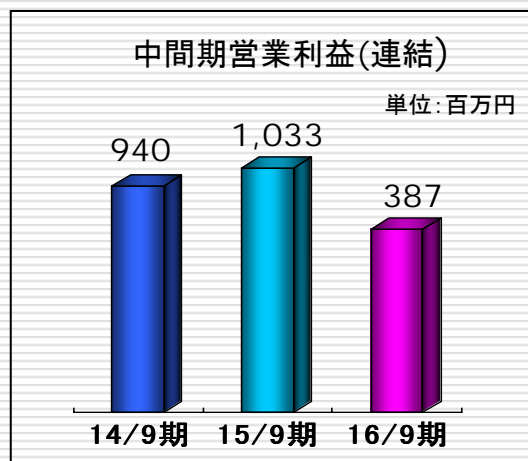
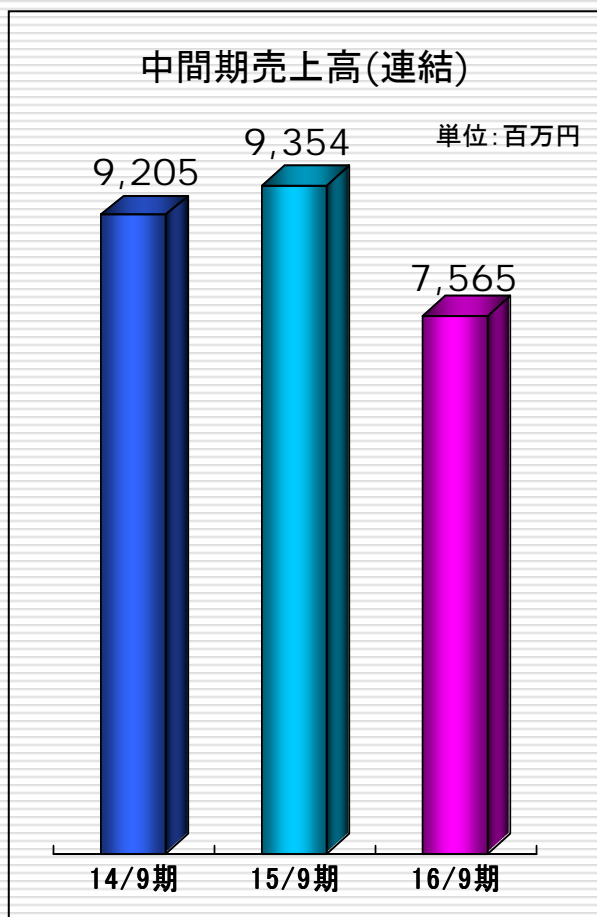
		当中間期	前年同期	増減(前年同期比)
連結	売上高	7,565	9,354	△1,789 (△19.1%)
	営業利益	387	1,033	△646 (△62.5%)
	経常利益	383	937	△554 (△59.1%)
	中間純利益	243	475	△232 (△48.7%)
	1株当中間純利益	20円34銭	39円66銭	
	ROE	2.8%	5.1%	
	ROA	1.5%	2.5%	

平成16年9月中間期決算実績(単体)

単位:百万円

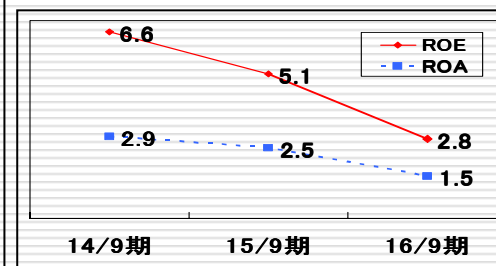
		当中間期	前年同期	増減(前年同期比)
単体	売上高	5,704	6,639	△935 (△14.1%)
	営業利益	181	210	△29 (△14.0%)
	経常利益	206	334	△128 (△38.4%)
	中間純利益	123	202	△79 (△38.9%)
	1株当中間純利益	10円30銭	16円87銭	
	配当金	5円	5円	

平成16年9月中間期決算実績(連結)

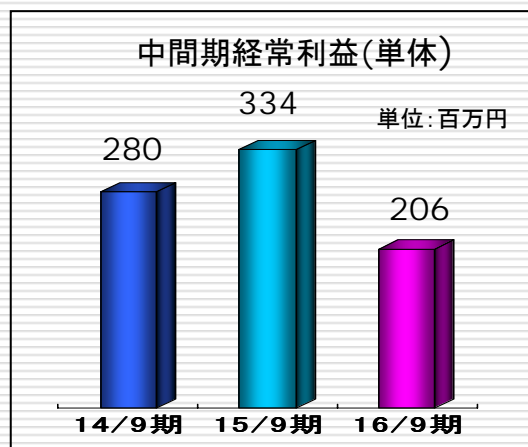
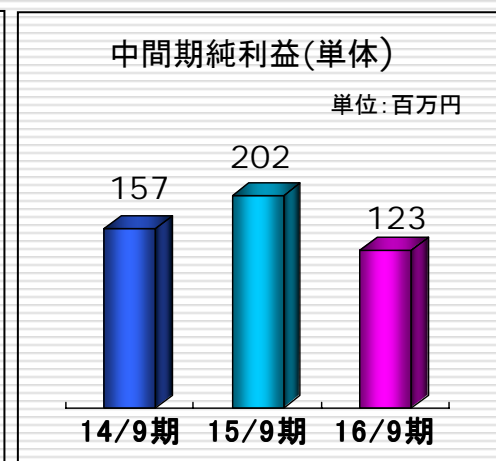
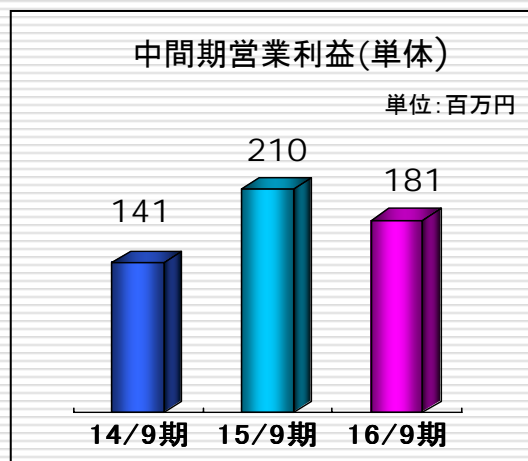
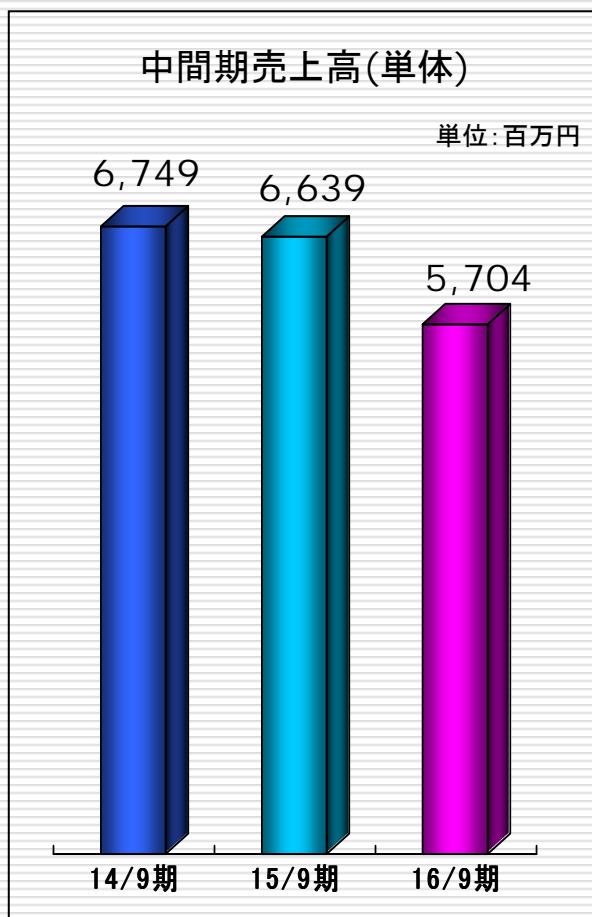


1株当り純利益(連結)

期	14/9期	15/9期	16/9期
1株当り純利益	44.88円	39.66円	20.34円



平成16年9月中間期決算実績(単体)



1株当り純利益(単体)

期	14/9期	15/9期	16/9期
1株当り純利益	13.18円	16.87円	10.30円

中間配当金(単体)

期	14/9期	15/9期	16/9期
中間配当金	5円	5円	5円

通期の見通し

平成17年3月期通期業績見通し(連結)

単位:百万円

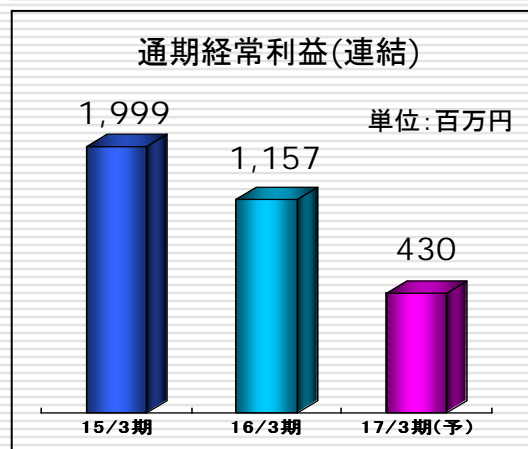
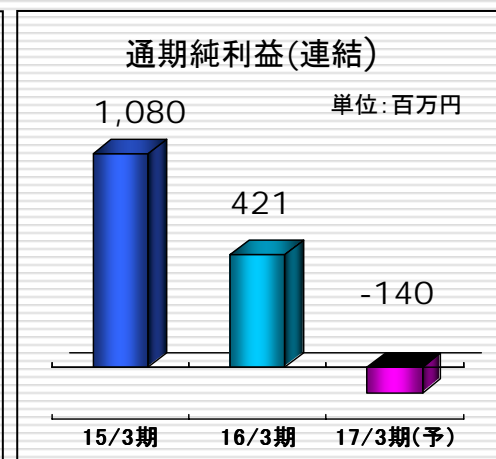
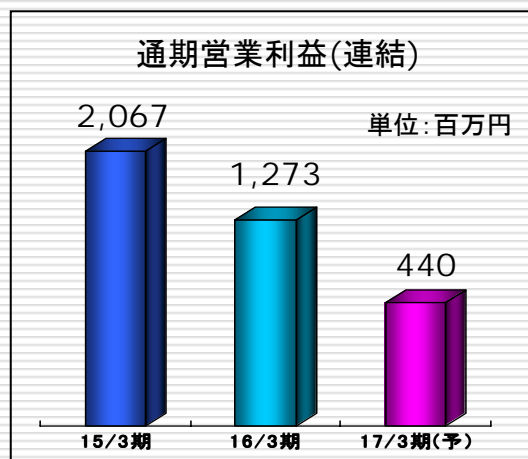
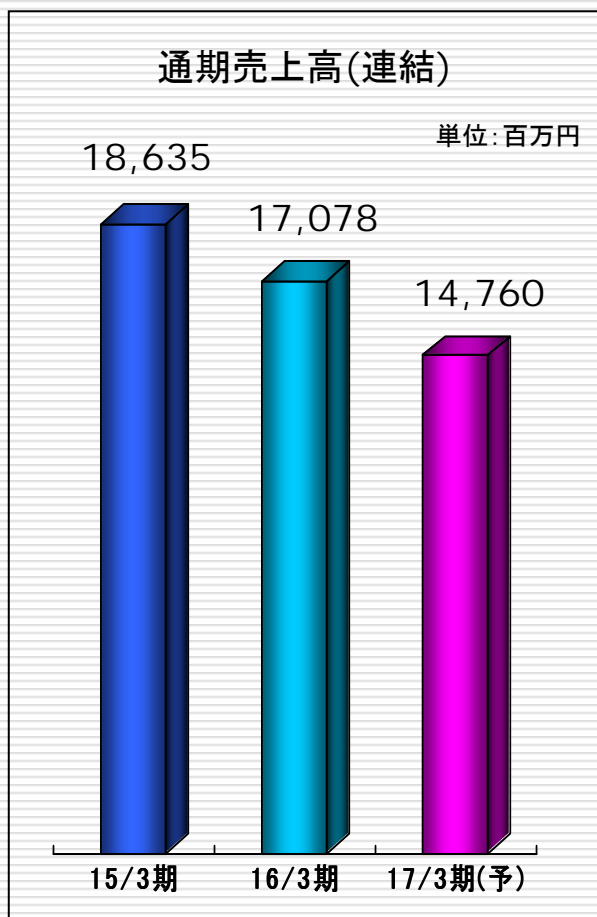
		17年3月期通期予想	16年3月期実績	増減
連結	売上高	14,760	17,078	△2,318
	営業利益	440	1,273	△843
	経常利益	430	1,157	△727
	純利益	△140	421	△561
	1株当り純利益	△11円67銭	31円56銭	
	ROE	-	4.2%	
	ROA	-	2.5%	

平成17年3月期通期業績見通し(単体)

単位:百万円

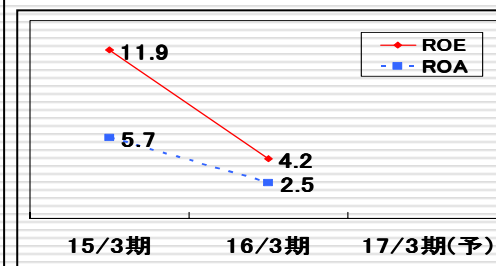
		17年3月期通期予想	16年3月期実績	増減
単体	売上高	11,810	13,433	△1,623
	営業利益	280	383	△103
	経常利益	340	629	△289
	純利益	210	293	△83
	1株当り純利益	17円51銭	22円40銭	
	配当金	10円00銭	10円00銭	

平成17年3月期通期業績見通し(連結)

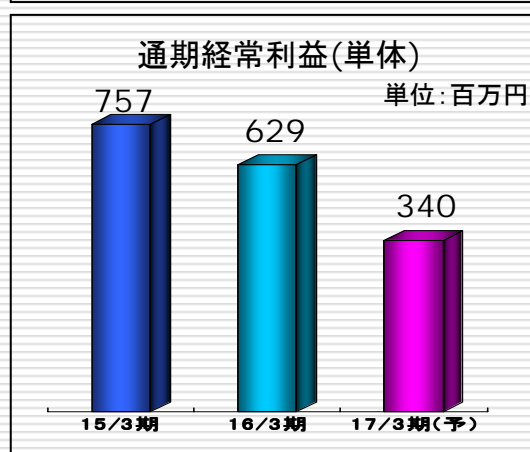
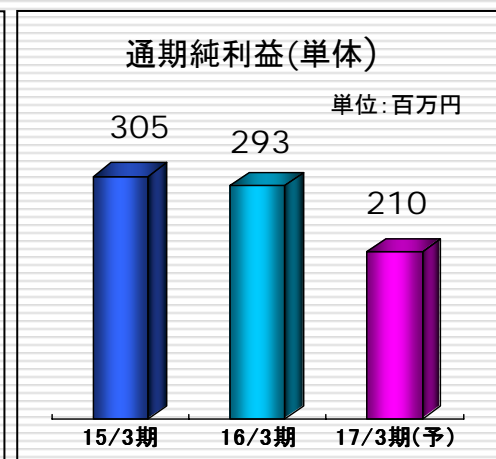
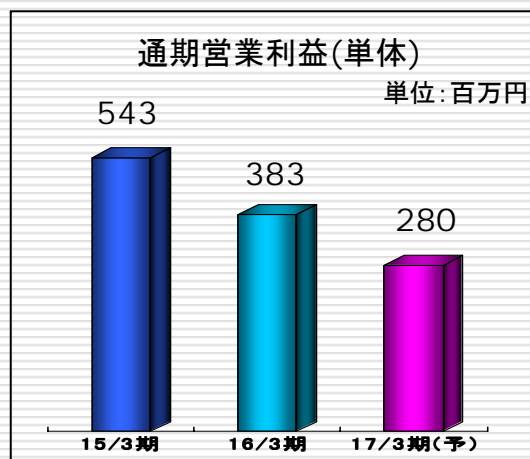
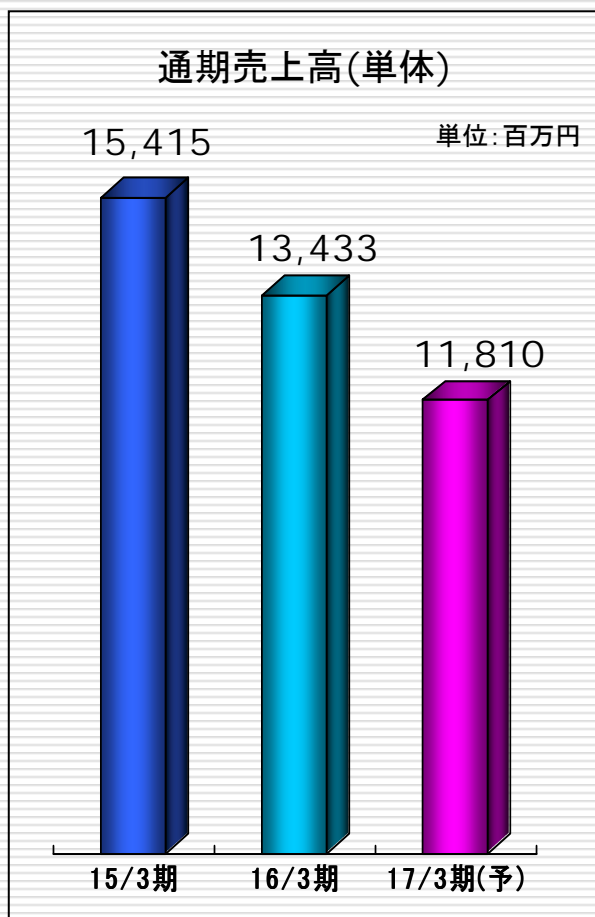


1株当り純利益(連結)

期	15/3期	16/3期	17/3期(予)
純利益(円)	87.01円	31.56円	-11.67円



平成17年3月期通期業績見通し(単体)



1株当り純利益(単体)

期	15/3期	16/3期	17/3期(予)
1株当り純利益	23.10円	22.40円	17.51円

配当金(単体)

	15/3期	16/3期	17/3期(予)
中間	5円	5円	5円
期末	7円	5円	5円
年間	12円	10円	10円

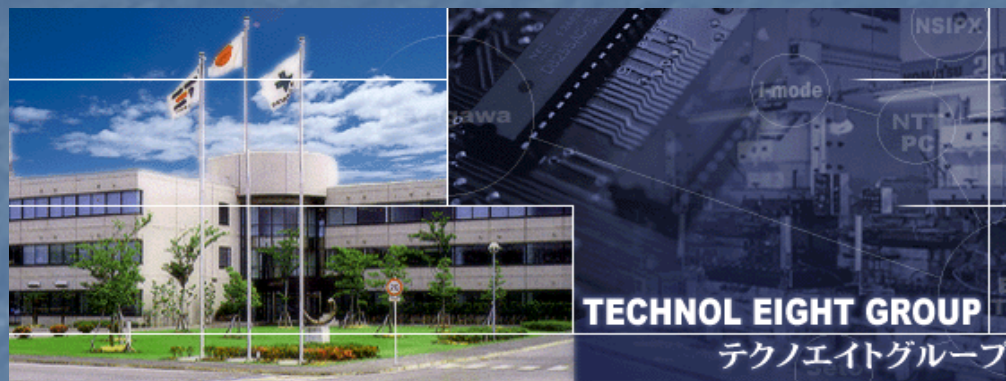
子会社テクノ佐賀株式会社 ゲーム機器事業撤退について

連結子会社テクノ佐賀株式会社はゲーム機器のOEM製造と不動産賃貸の2部門の事業を展開してまいりましたが、この内、ゲーム機器部門は、平成16年8月末をもって、次の事情により同事業から撤退いたしました。

- 当該事業につきましては、売上変動は大きいながら昨年前半までは順調な推移を示しておりましたが、規制強化ならびに、一部人気機種への需要集中等の影響もあり、昨年後半から受注は大幅に減少し赤字化、一旦、持ち直すものの平成16年4月以降の受注はピーク時の5分の1まで落ち込む等予測を超える急減となり、同6月21日以降、工場生産は休止に至りました。
- 一方、OEM供給先の自社工場が、平成16年4月竣工、同6月以降徐々に本格稼動にはいり来年には量産体制も見込まれ、今後ある程度の市況の回復を前提としても採算ベースの受注の目処が立たないと判断せざるを得ない状況に立ち至りました。
- これらの状況を踏まえた検討の結果、今後見込まれる赤字を回避するためにも早期撤退が妥当との結論に至ったものであります。(当該事業に関わる固定経費は、昨年度実績では年間6億円) なお、同事業から撤退後の当該子会社は、安定テナントを有する不動産賃貸業を継続しております。
- また、撤退に伴い遊休資産となる当該子会社の本社工場は、OEM供給先に本年8月9日付で売却いたしました。なお、売却に伴う特別損失は、164百万円ではありますが、当該子会社の決算期上(12月31日)、本年下期の計上となります。
- 当社グループといたしましては、主力部門であるプレス部品関連に経営資源を集中し、更なる品質の向上ならびに原価低減の推進により、一層の経営効率化、収益基盤の拡充に注力してまいります。

会社の概要

グループ会社概要(平成16年9月現在)



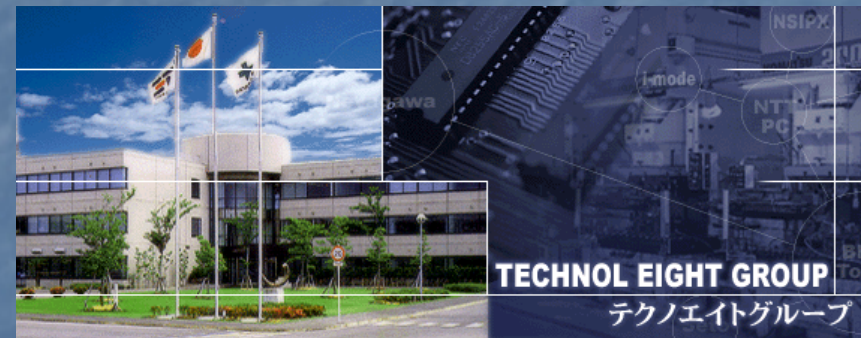
会社名	テクノエイト株式会社
所在地	本社：愛知県瀬戸市暁町1番地 東京営業部：東京都八王子市片倉町358番地
創立	昭和23年9月
JASDAQ上場	平成元年11月
資本金	3,407百万円
売上高	13,433百万円(平成16年3月期)
事業内容	自動車部品、家庭用電気機器部品のプレス加工、溶接、塗装、組付
従業員数	353名

グループ会社概要(平成16年9月現在)

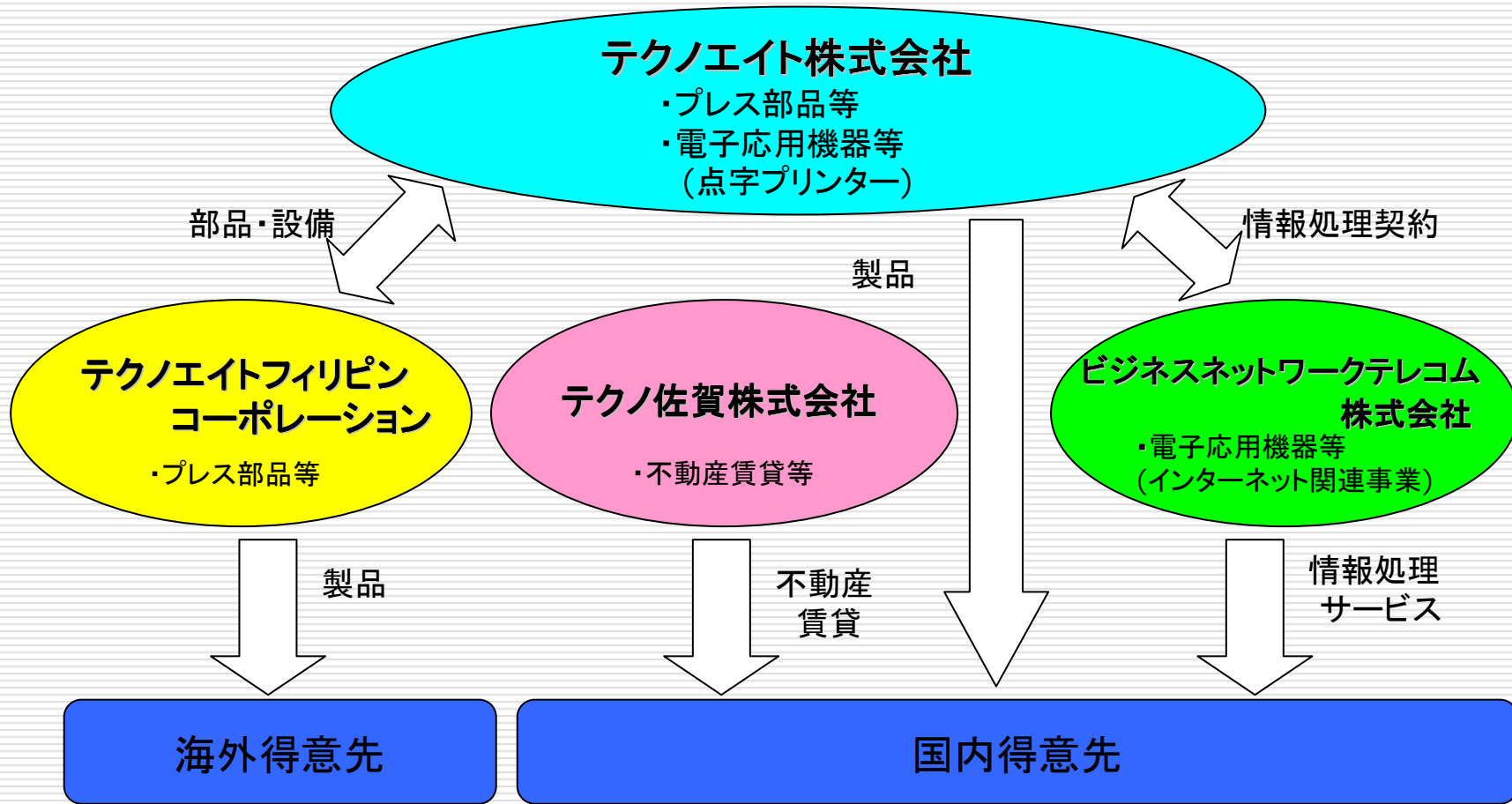
会社名	テクノエイトフィリピンコーポレーション
設立	平成9年8月
資本金	247百万フィリピンペソ
売上高	663百万円(平成15年12月期)
事業内容	プレス部品加工
従業員数	141名

会社名	ビジネスネットワークテレコム株式会社
設立	平成8年3月
資本金	490百万円
売上高	462百万円(平成15年12月期)
事業内容	インターネット関連事業
従業員数	20名

会社名	テクノ佐賀株式会社
設立	昭和59年5月
資本金	417百万円
売上高	4,761百万円(平成15年12月期)
事業内容	電子応用機器等(8月撤退) 不動産賃貸



事業系統図

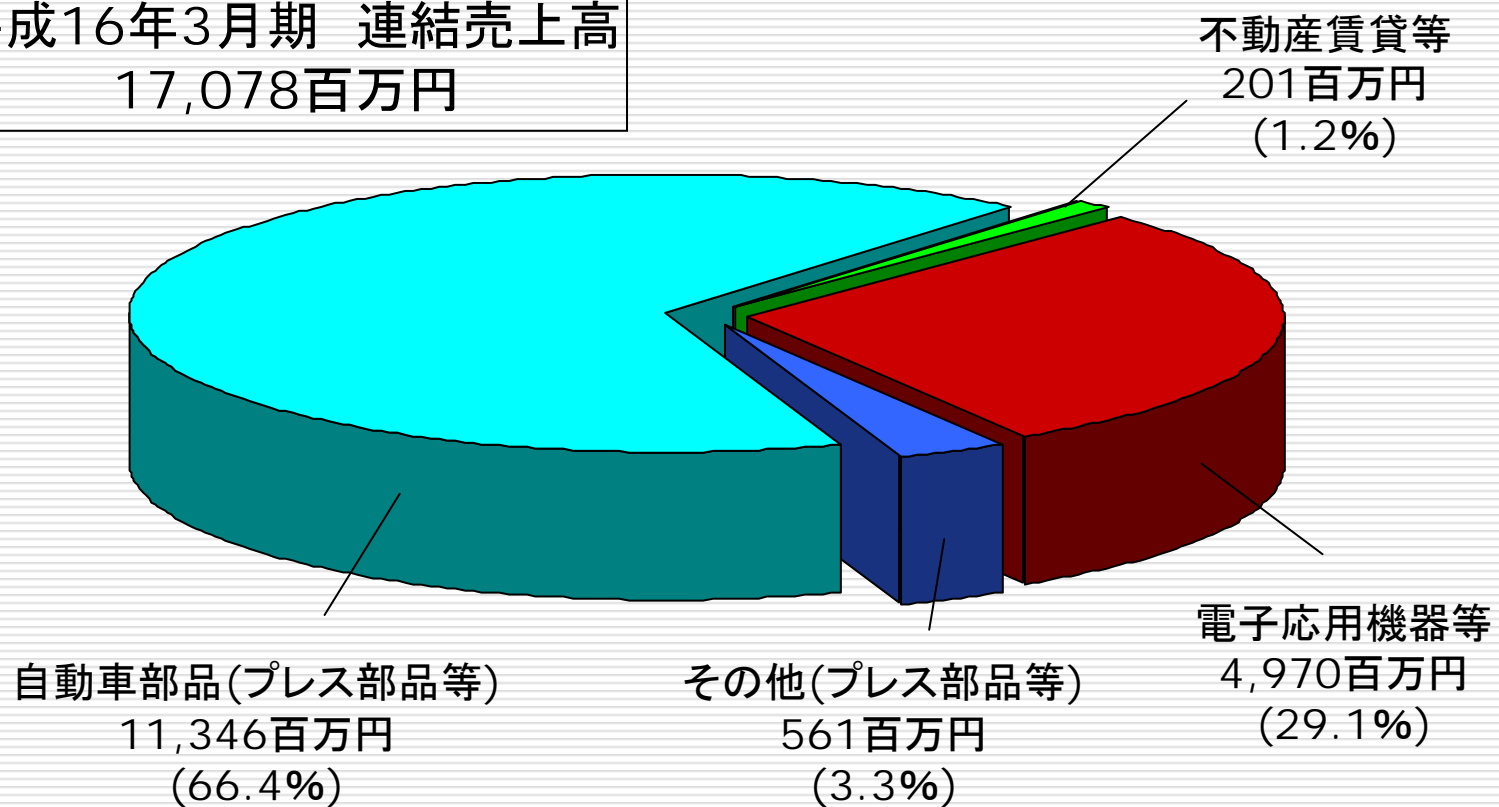


会社沿革

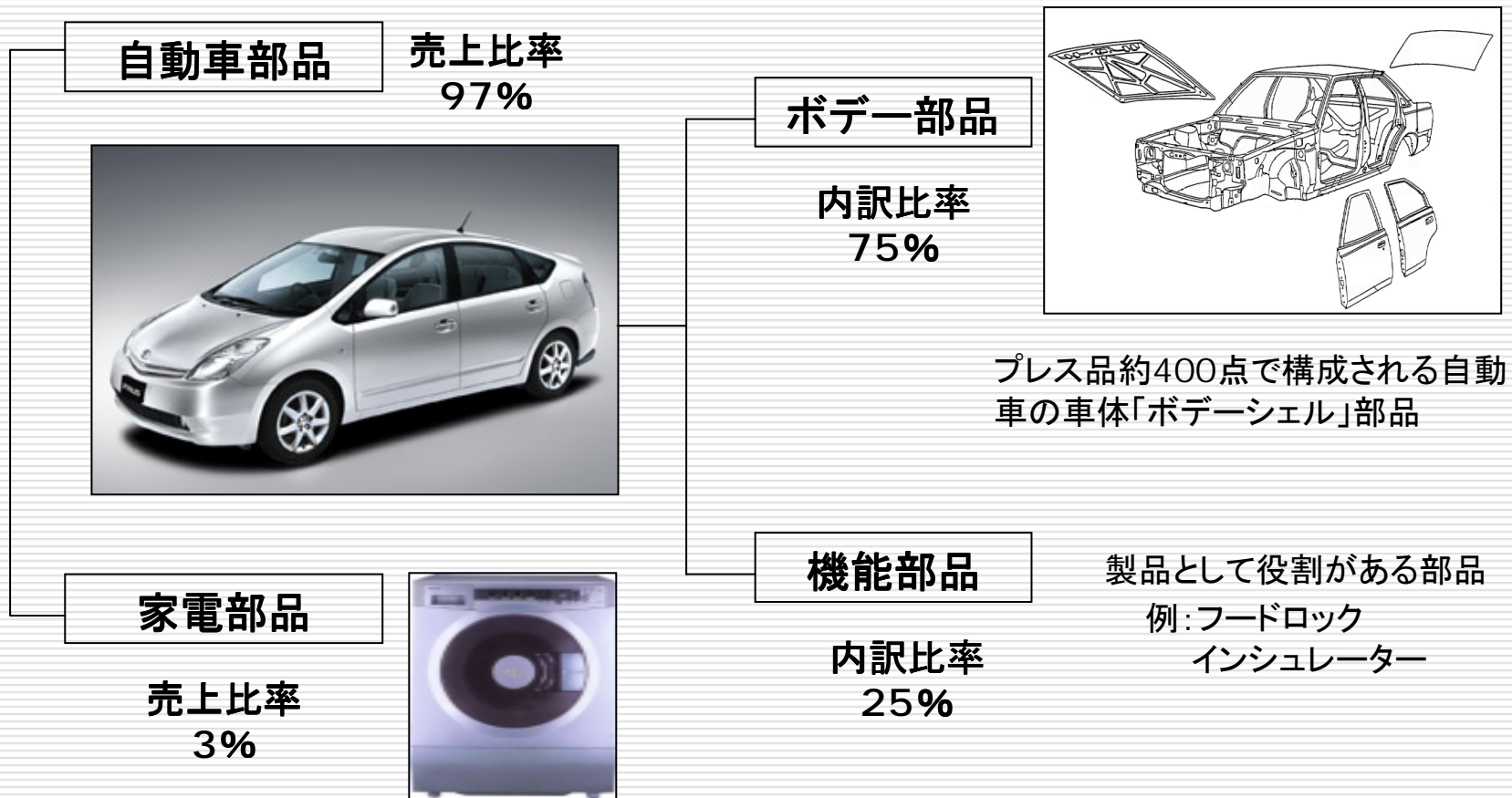
年月	概要
昭和23年 9月	資本金50万円で丸八工業株式会社を設立、トヨタ自動車株式会社の協力工場となる
昭和24年12月	株式会社デンソーと取引開始、協力工場となる
昭和40年 4月	株式会社豊田自動織機と取引開始
昭和49年 2月	松下電器産業株式会社と取引開始
昭和61年 9月	テクノエイト株式会社に商号変更、および愛知県瀬戸市暁町1番地に本社を移転
昭和62年 4月	電子応用機器の製造販売を目的として株式会社日本電通と合併
平成 元年11月	社団法人日本証券業協会に当社株式を登録
平成 5年11月	オンキヨー株式会社と取引開始
平成 6年 7月	株式会社東芝と取引開始
平成 9年 8月	当社100%出資の子会社テクノエイトフィリピンコーポレーションを設立
平成12年 7月	テクノ佐賀株式会社の株式を100%取得
平成13年 4月	ISO9001(品質マネジメントシステム)認証取得
平成14年 3月	ビジネスネットワークテレコム株式会社の株式を追加取得し、子会社化
平成14年 4月	ISO14001(環境マネジメントシステム)認証取得
平成16年 3月	点字プリンターの大幅改良型「オオツキプリンターBT-201」を販売開始

事業別売上高の構成(連結)

平成16年3月期 連結売上高
17,078百万円

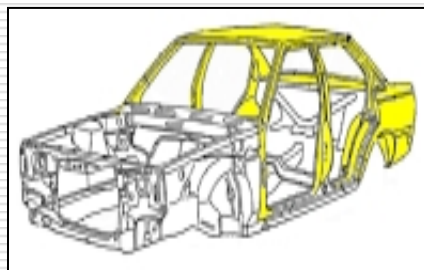


製品別売上比率と主な生産部品(単体)



主な生産部品(ボデー部品)

アップー 内訳比率 34%



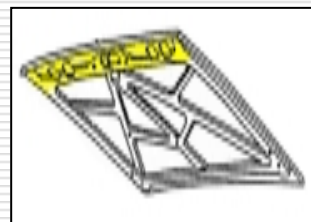
ドア部品

内訳比率 31%

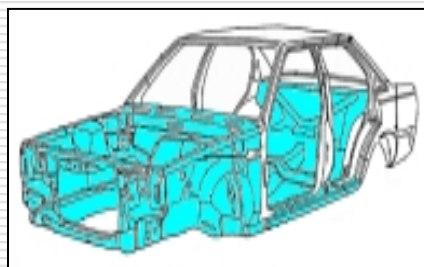


ボンネット部品

内訳比率 10%

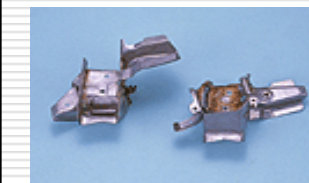


アンダー 内訳比率 66%



サスペンション部品

内訳比率 14%



ギアシフト部品

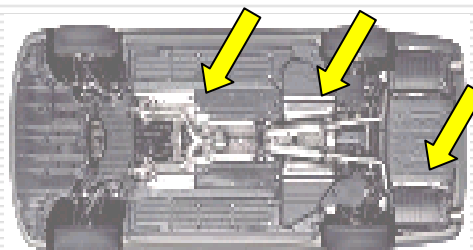
内訳比率 17%



主な生産部品(機能部品)

インシュレーター

内訳比率
21%



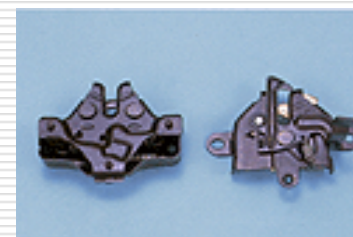
エアクリナー

内訳比率
17%



フードロック

内訳比率
14%



經營戰略

中長期的な会社の経営戦略

□ 対処すべき課題

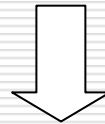
国内外でのグローバルな競争の激化と、一層厳しさを増す経営環境に対応するための強固な経営体質の確立をめざし、ものづくりの原点に立ち、品質、コストでお客様に満足していただける商品づくりを課題として次の各項の推進を図ってまいります。

- ①競争に打ち勝つための人・設備の能力・完成度向上
 - ②徹底したムダの排除と生産性向上による原価低減の達成
 - ③活力ある企業風土の育成と絶え間のない改善を通じた人材の育成
 - ④既存技術で他社を驚愕するとともに新技術への積極的な取り組み
 - ⑤ISO9001、ISO14001の認定基準に沿った品質・環境の保証体制の継続的な整備拡充
-

中長期的な会社の経営戦略

□ 重点事業・・・自動車関連プレス部品加工

- 経営資源を集中し、収益基盤を拡充
- 品質の向上並びに原価低減の推進により、一層の経営効率化
- テクノエイトフィリピンを更に育成し、グローバル化に有効活用



重点戦略製品

軽量化と安全性の両立に対応したアルミ超薄型プレス製品



エンボス
アルミインシュレーター



アルミボンネット用
フックS/Aフードロック

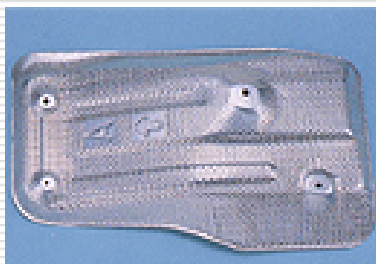
- ① 難加工プレス技術のさらなる発展
- ② 幅広い取引先の獲得
- ③ 収益性の向上

新技術・新生産技術の開発

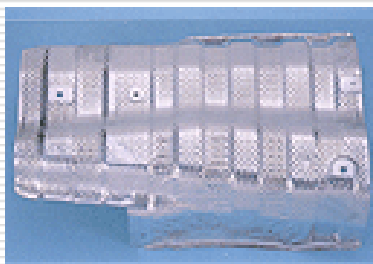
□ アルミ加工技術の確実な開発

自動車にとって軽量化は燃費・操縦・乗り心地等、全ての性能に貢献するものです。
テクノエイトのアルミ技術は世界最軽量を達成し、多くのトヨタ車に採用されています。

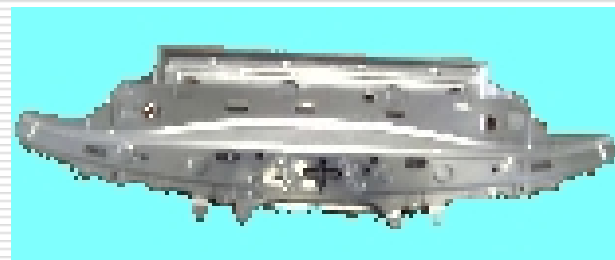
エンボスアルミインシュレーター



高温になる排気ガスが通るマフラーの熱を
車内と遮断する部品です。
多くのトヨタ車に採用されています。



アルミボンネット用フックS/Aフードロック



ボンネットの軽量化、歩行者保護の安全
性に配慮した部品です。
「プリウス」及び「アリスト」に採用されて
います。

新技術・新生産技術の開発

□ 超高張力鋼板プレスの開発

ピラーFRボデー



サポート S/A シフト&セレクトレバー



好シフトフィーリングを実現するための土台となります。

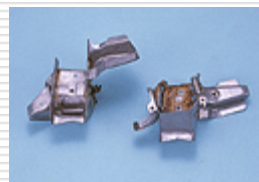
□ 差厚結合品

R/F S/A RRトルクボックス



□ 難形状高品質品

BKT S/A RR
サスペンションアームFR



自動車の乗り心地・操縦性能向上に本部品が大きな影響を与えます。「カローラ」等に多く採用されています。

IT事業 コンテンツ配信／ASPサービス

●コンテンツ配信



インターネット対戦型麻雀：東風荘においては、東映グループ各社との協業である哲也@東風荘やAu版、Biglobe版、So-net版、nifty版を提供していますが、それらの更なる充実、また新規企画の準備を進めております。

また、各ジャンルで極めた人を集め、ブログを中心にしたNetagencyの充実、コインゲームにおいては、Webカメラを使ったゲームの開発等進めて参ります。

●ASPサービス／SI事業



NTT-PC社との協業によるサーバ構築保守等のSI事業、顧客データベース及び課金システムのASPサービスを行っており、下記の業務を受託しております。今後も顧客開拓を続けて参ります。

- ・官公庁のサーバ構築保守
- ・キー局のテレビ通販課金システム
- ・音楽配信の顧客管理／課金システム
- ・映像配信の顧客管理／課金システム
- ・WEB通販の顧客管理／課金システム

点字プリンター「オオツキプリンターBT-201」

●社会福祉面でも意義ある商品として、より一層ご愛顧頂けるよう、今後とも注力してまいります

・長年の信頼と実績

目のご不自由な方と晴眼者の交流をテーマとした研究活動に取組み、昭和57年には点字と活字の同時印刷を可能にした(特許)"点字プリンター第1号機"を開発。以来、様々な場面におけるバリアフリーをサポートしてまいりました。

・「オーツキプリンターBT-201」の特徴

点字と墨字(漢字かな混じり文・倍角)の同時印刷により、点訳内容が容易に確認できます。
静粛性と印字の速度アップも格段に向上し、また、コピー機能の充実により印刷中もパソコンが自由にお使いいただけます。
コンパクトな形状で持ち運びも簡単です。

